

大島の夜空に約500発の花火が舞う

大島村夏祭り花火大会



1



1_ 的山外港に打ち上げられた花火/2_大島村青年団によるバンドの演奏披露/3_コーラの早飲み競争/4_子どもたちによる魚のつかみ取り



大島村夏祭り花火大会
実行委員会委員長
いりもと じゅんぺい
岩本 順侍さん
大島村

この祭りは、大島の夏の風物詩として定着しています。同時期に伝統芸能の披露もあるので、帰省客の皆さんにも楽しんでもらえたくれしく思います。

スタッフは若者が少なく年々高齢化しています。今後も、規模は小さくなるかもしれませんが、続けていきたいと思っています。

大島の夏を彩った「大島村夏祭り花火大会」が、8月12日に大島村的山港一帯で開催されました。
この夏祭りは、年に1度の大きなイベントであり、大島地区の皆さんが楽しみにしている夏の風物詩です。
会場では、まず子どもたちによる「魚のつかみ取り」から始まり「コーラの早飲み競争」「バンドの演奏」などのステージイベントで盛り上がりました。
最後には、約500発の花火が打ち上げられ、皆さん夏の



夏祭りや伝統芸能

夏を彩る

燃えた平戸の夏

各地でイベントが開催 帰省客や市民でにぎわう

8月は、平戸が1年間で一番血気盛んになるシーズン。夏祭りや伝統芸能など、市内各地でさまざまなイベントが開催されました。帰省客や市民などでにぎわい、夏の良き思い出として、皆さんの心に残っていると思います。
しかし、どのイベントも担い手の確保が難しい中で、必死に裏方で頑張る人たちがいるということを忘れてはなりません。こういう人たちのおかげで、皆さんが楽しんだイベントが成り立っているのです。
今回は、裏方の皆さんのインタビューも交え、各地のイベントを追いました。



平戸港夏まつり花火大会



1



2



3



4

1_平戸城とコラボレーションした花火/2_コンテストで入賞し賞品を受け取る少女/3_田助ハイヤ節保存会による踊りの披露/4_かき氷を買う人たち



平戸港夏まつり
実行委員会委員長
たてし けんじろう
立石傳太郎さん
新町

昔はいろいろな祭りがあって、地域には一体感がありました。現在は、地域の行事も少なくなってきたり、この祭りは、数少ない地域の喜びを共有し団結できるイベントです。今後とも、この祭りが地域のシンボルとして継続していくために、地域と行政が一体となって頑張っていきます。

「平戸港夏まつり花火大会」が、8月18日に平戸港交流広場一帯で開催されました。8月5日に開催予定でしたが、台風の影響でこの日に順延。当日は、晴天で風もなく絶好の祭り日和となりました。会場では、商工会議所青年部が中心となり、舞台のイベントの進行や、屋台を出店するなど祭りを盛り上げていました。祭りの最後には、平戸港に百花繚乱の花火が打ち上げられ、皆さんきれいな花火に酔いしれている様子でした。

たびら夏祭り シーサイド花火大会



1



2



3



4

1_田平港に打ち上げられた花火/2_北松農業高校生徒による田平権現太鼓の披露/3_出店を楽しむ少年/4_スタジオシャインによるダンスの披露

「たびら夏祭りシーサイド花火大会」が、8月17日に田平港内埋立地一帯で開催されました。会場では、出店が並び、子どもたちは、うれしそうにさまざまなゲームに挑戦していました。ステージでは、よさこいやヒップホップダンス、高校生による太鼓の披露などで会場を盛り上げ、集まった皆さんを楽しませました。クライマックスの花火では、ライトアップされた田平港とうまく相まって、幻想的な風景を醸し出していました。

この夏祭りは、田平町内の皆さんをはじめ、多くの人たちの寄附によって行われています。準備や後片付けなど、実行委員をはじめ多くの町民や各種団体の皆さんにボランティアでご協力いただいています。今後も、地域活性化のために続けられることを期待しています。



たびら夏祭り
実行委員会会長
おおくま しげお
大坪 成禧さん
田平町

優美に

舞い踊る

— お盆の伝統芸能が市内各地で開催 —

江戸時代から伝わる「伝統芸能」。

独自の形態を伝承しつつも、時代ごとに流行した衣装や芸能をうまく取り込みながら、絶やすることなく各地域で脈々と受け継がれています。その伝統芸能が、8月11日から18日まで市内各地区で披露されました。

平戸地区の「平戸のジャンガラ」、獅子地区の「獅子の須古踊」、度島地区の「度島の盆ごうれい」、生月地区の「館浦の

須古踊行事」、大島地区の「大島の須古踊」「大島のジャンガラ」「大島の流儀」、どれも長年にわたり地域の人たちが守り抜いてきた特色のある素晴らしいものばかりです。

しかし、後継者不足で存続の危機にある伝統芸能もあります。先人たちから受けたバトンは、さらに未来へと確実に渡さなくてはなりません。

存続のためには担い手の確保は急務であり、若者の協力が必要不可欠です。

この他にも平戸には多くの伝統芸能があります。これら素晴らしい芸を絶やさないためにも、今一度地域の取り組みに目を向け、地域と絡み

なつて暮らしていく決意を持った若者が必要としています。

度島の盆ごうれい

「寺の下の坂起こし」

1_度島の盆ごうれいの笛/2_平戸のジャンガラ(平戸地区) /3_大島村盆踊り合同公開での流儀/4_獅子の須古踊りの杵ぶり/5_館浦の須古踊行事の傘鉦/6_大島村盆踊り合同公開での須古踊り/7_館浦の須古踊行事参加者全員での参拜/8_獅子の須古踊りの杖使い/9_館浦の須古踊行事の花杖/10_度島の盆ごうれいの先払いの人たち/11_度島の盆ごうれいの棒術/12_館浦の須古踊行事の中踊りの歌詞

平戸の「ジャンガラ」奉納

